

周南市飯島町1-13 Tel 22-8875 Fax 22-8813



**新年あけまして  
おめでと〜ござります**

徳山小学校区  
コミュニティ 会長 国富 晃

二〇〇五年（平成十七年）の輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、昨年はそれを象徴する漢字として災という字がしたためられました。多くの台風災害、これと前後する洪水災害、さらには中越大地震など稀に見る災害の多発した年でもありました。

また、年末のスマトラ沖地震に伴う大津波災害などは、空前絶後のものでもありました。被災された多くの方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今年は昨年以上に厳しい年となるものと予想されますが、私たちはコミュニティによる結びつきをしっかりと保ち、明るい楽しい思いのするコミュニティとすべく、最大級の努力をしていきたいものだと思います。

# 門松づくり奮闘記

夏の雨不足、度重なった台風、加えて地震など、昨年正に「災い」の多い一年であった。

この災いは当公民館にも及んで、例えば、大迫田の農園に植えたサツマイモ（毎年、徳山小の子どもといっしょに育てている）が、さっぱり育たなかったこと。また、台風では、当公民館に緊急避難されたお方もあったこと、等々。

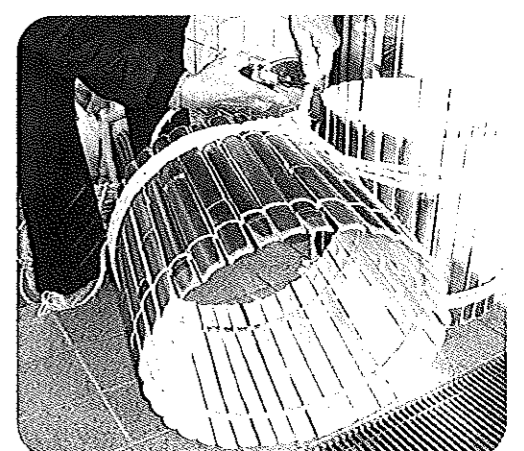
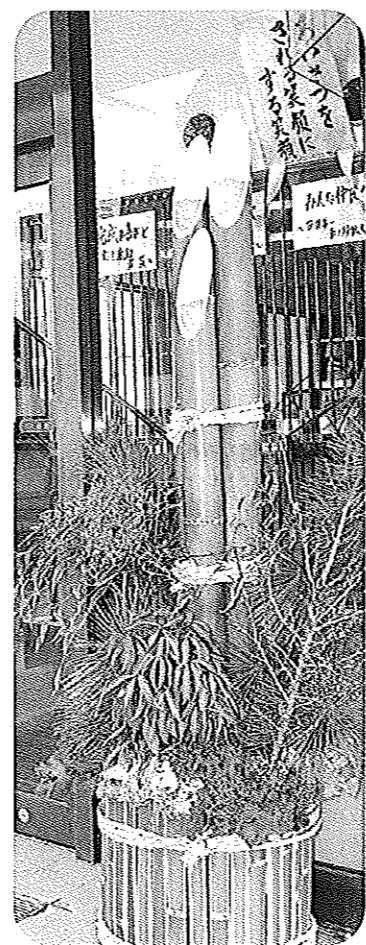
何とか今年、いい年に、「災い転じて福となす」何かいい手はないものか……。そこに出たのが「公民館に門松を」というAさんの一声。続いて出たのが「それはいい、大賛成」というBさんほかの二声、三声。みなさんいずれも平素から公民館に出入りなされて協力的、ボランティアの心あふれる方々ばかり。

しかし、言うは易く行うは難しい。いったい何からとりかかればいいのか。誰にも門松を作った経験がない。材料には何があるのか、どれだけの大きさか、どこで誰が手に入れるか、大きさは、など、十二月からの思案・立案、あまたこうだとかななかのものがあつた。

据え付け目標を十二月二十二日に設定。参考資料として近隣の門松の写真撮りはAさんが、竹の切り出しはBさん宅のを半日がかりで数人が、梅の枝はCさん担当、南天は講座生のDさん供出、松の枝はFさんの見立てと入手、その他土も要ればボタンも要る。物がそろったあとはいよいよ作業。意外に細かく美的センスも必要で、竹の先端は「斜め切り」、三本竹を藁縄でくくるのは「つの結び」、割り竹三二本を八番線で結わえての鉢づくり、これに土を入れて葉ボタンを植え込む。梅と松と南天の差し込みは生花のように美しく最後の水遣りをもって労作が完成した。

右は奮闘の一端に過ぎないが、苦勞のかいあつて、見るほどに素人らしからぬりっぱな作品に仕上がった。自己満足と達成感。

地域の皆様方にこの一年、幸多からんことを祈ります。



**編集後記**

皆様方には、健やかに新年を迎えにいられたことと、お喜び申し上げます。

近年パソコンやインターネット、電子メール等の普及により私達の生活もIT化してきました。これからは皆様とのふれあいを通じて「きずな」の編集にあたり楽しく読んでもらえるよう今年も頑張りたいと思います。

国富 和美

これからの予定	
・2月11日(金) 建国記念の日行事	児玉公園
・2月25・26日「きずな祭」(講座生の学習発表会)	中央地区公民館
(金・土) (フリーマーケット・バザー等もあります)	
・3月20日(日) 徳山小学校体育館完成記念	徳山小学校体育館
中央・関門地区親睦スポーツ大会	
・4月3日(日) さくら街道祭	美術博物館 東側駐車場

# 徳山小学校体育館・落成 一二〇周年記念式

## 「鳴鳳館」

徳山小学校校長 村田 正樹

念願でした屋内運動場とプールが完成し、昨年末、十二月二十日に落成式を行いました。  
御尽力をいただきました地域の皆様方に、お礼を兼ね、その御報告をいたします。  
ご存知のように、本校、徳山小学校は、地域の皆様方や卒業された方々の誇りとご支援を背景に多くの人材を輩出し、長い歴史を刻んできた伝統校であります。



その伝統の象徴でもあった旧講堂は、昭和四年に建築されて以来伝統校の伝統たる所以を彷彿とさせるたゞずまいにあり、多くの方々が深い思いを寄せられてきたところでもあります。  
しかしながら、将来を標榜することが命題である学校教育は、常に時代に先行しなければならず、したがって、そこに学ぶ子供たちに最良の教育環境を用意すべき努めがあります。  
そのような背景の中、このたび旧講堂への皆様方の愛着を投影しながらも、現代建築の粋を集めた新しい屋内運動場が、重厚な趣と最新設備とを調和させて完成いたしました。

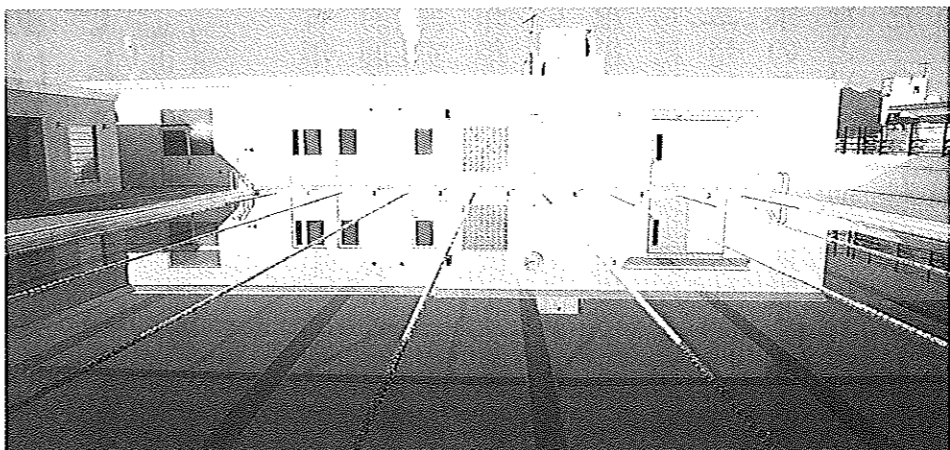
旧講堂の建造物の一部は、新しい屋内運動場にそのまま生かされているところもあります。  
また、本校では、この屋内運動場に「鳴鳳館」と命名することにしています。藩校鳴鳳館に始まる学問の系譜を、ここに改めて問い直すためであります。

併せて、本校積年の悲願でありましたプールも、屋上に、これは誠に美しく出来上がりました。  
厳しい情勢の中で、このように立派な施設を本校に建設していただいたということは、私も教育施設を預かる者として誠に有り難く、この最高度の教育環境を、学社両面、最高度に機能させるべく強く努めて参りたいと存じます。

学校施設は一人学校だけのものではなく、地域の皆様方のものでもあります。どうぞ、存分に活用いただきまして、惜しまれながら消えていった旧講堂に増して、皆様方から愛される「鳴鳳館」に育ってほしいと願っています。

なお、「鳴鳳館」だけでなく、学校は地域の皆様のものであります。平素から子供たちや職員がお世話になっている皆様方には、いつでも気軽に立ち寄りいただけたらと思います。  
終わりになりますが、このたびの建設につき、皆様方には多大なご支援ご尽力ご理解を賜りました。厚くお礼を申し上げますとともに、新しい年が皆様方にとりまして素晴らしい一年になりますよう祈念いたします。

本年もどうぞよろしく申し上げます。  
本校もどうぞよろしく申し上げます。



## 徳山小学校 卒業生の一言

### 体育館の完成

おめでとうございます。  
屋上にプールがある。空に近いプールで泳ぐ皆さんの元気で楽しそうな歓声が、はるか京都まで聞こえてくるようです。  
一九二九年卒業

日展会員 澤野 文臣  
（講堂に掛けてある  
「浄・漁港・夕日の作者」）

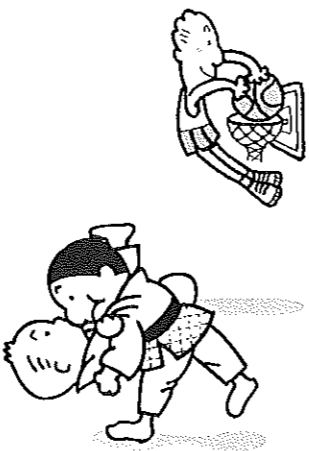
### 体育館（旧講堂）の思い出

低学年時、体育館（旧講堂）にあるピアノが夜中に誰もいないのに、鳴る事があると大人に言われ恐ろしかった記憶があります。  
他の人もこの怪談話を聞かれた事はありませんか。  
一九五三年卒業 五和宮 勇

講堂がせまかったので、もっと早く使いたかった。  
岐陽中二年 蔭谷 諒太郎

卒業式などさまざまな行事をやっていたのでこわす時は、とてもさみしかったけれど、これから使

う人は、大切に使って欲しいと思います。  
岐陽中二年 寺本 早希



## 体育館が完成して

徳山小六年 御手洗 奈美

一年前、新体育館の工事が始まりました。いったいどんな体育館ができるんだろうと、とてもワクワクしていました。

完成した体育館は、とても大きくて、とてもきれいでした。そして講堂のおもかげが残っていることにもうれしさを感じました。こんなに立派な体育館で今度から運動や集会ができると思うと、とてもうれしいです。

このすばらしい体育館で楽しい思い出をたくさん作っていきたいです。そして前の講堂と同じように一緒に成長していけたらいいなあと思います。

## 絆（きずな）

中・関地区老連 藤井 禧紀

中央地区老人のための明るいまち推進協議会と称し事務局を、中央地区公民館に置き、各事業を行っています。一、健康対策、二、生きがい対策、三、福祉精神高揚対策、その他必要と認められる事業等、内容的には、趣味、レクリエーションほか四十種目にも及ぶ事業があります。

これら多くの行事を計画し、年間を通じて活動しています。大変ご苦労さまと感謝いたします。

さて、その中に公民館きずな会があり、毎年二月に公民館講座生の学習成果発表会である「きずな祭」が、公民館で開催され、一年間皆様の、趣味、又研修作品等が各々会場一パイに展示され見事なものです。また健康づくりについても、季節に添って、それぞれ行われていきます。そうした中に、人と人の結びつき、又、はなれがたい関係等が生まれてきます。益々、それが絆だと私は思います。益々、きずなを輪を広げ、明るい町づくりに努めて行きたいと思っています。

